

●「なかがみ餅つき大会」開催

開催日：2月9日（日）

会 場：中神熊野神社境内 参加者 270名

地域の子供さんと共に世代を超えて参加していただく餅つき大会。また、ボランティア活動として、地域の垣根を越えて餅つき大会を支援する実行委員の皆様。この行事のなかで、地域交流の輪が広がっていきます。

毎年、昭島市自治会連合会 第5・第6のブロック長さん、各自治会の役員の方々、地域の有志の方々、中神小学校の中神っ子ウインズのお母さん方、市民会議会員が実行委員となり、この餅つき大会を支えてくれます。

本年も 40 余名の実行委員の皆様から支援をいただきました。

大会当日、実行委員は午前 8 時に集合。地域活動部会部長 中野光弘さん・実行委員長 櫻井堅司さんの両名より作業手順や注意事項の説明があり、その後、各自の作業班に分かれて持ち場につきました。やがて 4 つのかまどの火入れが終わり、早朝の静かな境内に煙が立ちのぼり、餅つき本番を迎えていきます。



▲実行委員のメンバー



▲ヨイショ

多く、感謝の意を述べられる方もいました。予定通り正午に餅つき大会は無事終了。実行委員の皆様も安心すると共に疲労の色が見えてきました。しかし、多くの参加者に楽しんでもらったので、その疲れも癒されたのではないかと思います。

午前 10 時に受付を開始、来場者を迎えました。

強い北風が吹いていましたが、この風に負けない元気な子供たちが小さな子供用の杵（きね）を持ち、神妙な顔で餅つきの初体験。あるいは、お母さんの後ろに隠れて、興味を示しながらも、なかなか臼の前に出られず、周囲の人に励まされてやっと杵を握る子供。毎年見る微笑ましい光景です。中神小学校の松井校長先生、田中副校長先生も忙しいなか参加され、皆さんに声をかけていました。

日当たりの良い場所に置かれたテーブル席では、地域の皆様がつきたての餅（いそべ餅・きなこ餅・納豆餅・大根おろし餅・あんころ餅 等）を頬張り、温かい豚汁で体を温めながら子供たちとの会話を楽しんでいました。

毎年、この餅つき大会を楽しみにしてくれる皆さんも多

*** プラスチックゴミを削減する取り組みとして、今回の餅つき大会では、「昭島市のリユース食器貸し出し事業」を利用しました。（借用した食器は、使用後に残菜を除き、洗わずそのまま返却する）これにより、従来は「お皿、お椀、箸、コップ」など、使い捨ての

プラスチック食器類等を大量に使用していましたが、その必要がなくなり、プラスチックゴミ等の削減に協力することができました。***



▲会場のテーブルは満席